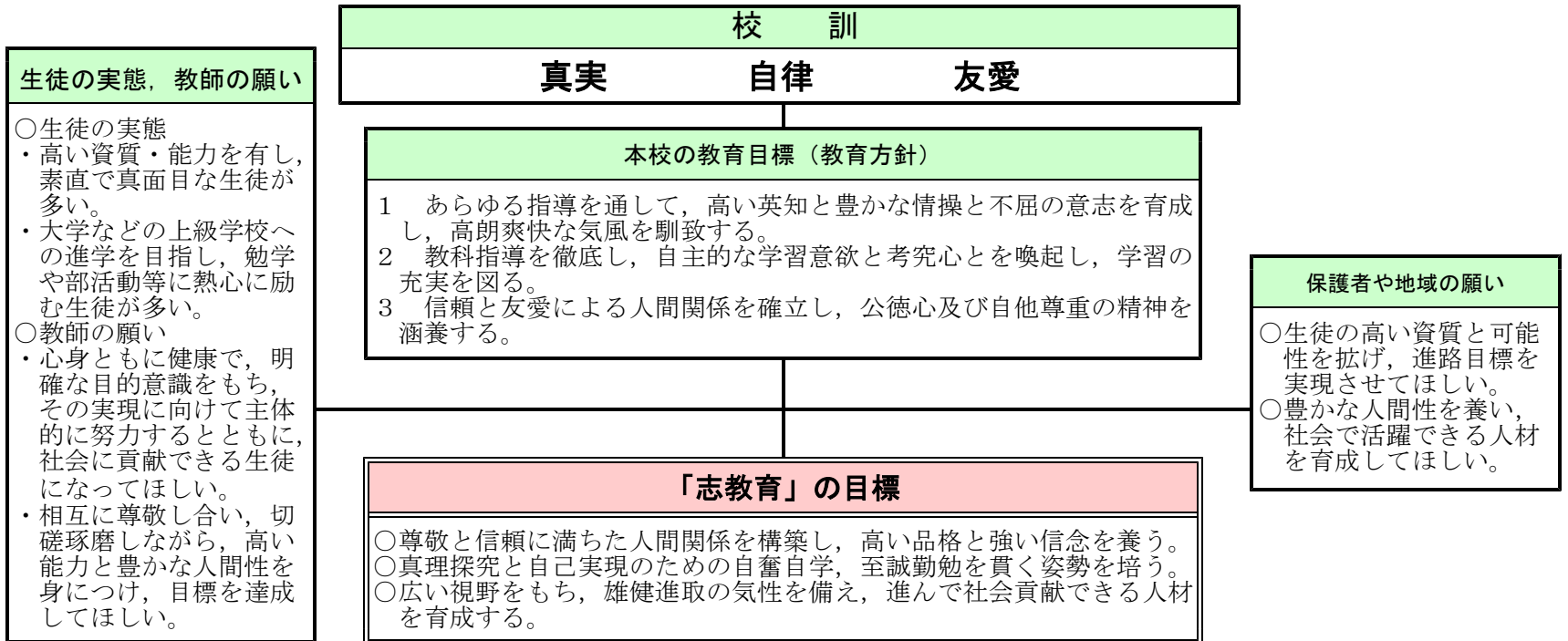


平成31年度「志教育」全体計画

宮城県石巻高等学校



| 重点指導事項 | | |
|--|---|---|
| 人と「かかわる」 | よりよい生き方を「もとめる」 | 社会での役割を「はたす」 |
| <p>様々な人との関わりを通して, 多様な価値観や個性を理解させるとともに, 自己理解を深め, 集団や組織の中でよりよい人間関係を構築する力や社会性を養い, 適切なコミュニケーションを図ることができるようにする。</p> | <p>進路に関する様々な学習を通して, 興味・関心を高め, 自己の適性を正しく理解させるとともに, 将来の職業や社会で果たすべき役割について考え, その実現に向けて主体的に取り組む姿勢・態度を育成する。</p> | <p>ホームルーム活動や学校行事等の特別活動において, 生徒一人ひとりが集団における自己の役割を理解し, 互いのよさを認め合いながら, 学校や地域社会の一員としての自覚をもって生活する姿勢・態度を育成する。</p> |

| 各教育活動における取組の観点 | | 各学年の取組内容 | |
|----------------|---|---|--|
| 各教科 | <p>○知的好奇心を高め, ゆるぎない向上心を培うとともに, 主体的に学習に取り組む姿勢・態度を養う。</p> <p>○各教科領域における基礎的・基本的な知識の理解にとどまらず, 習得した知識・技能等を活用するなどの課題解決力を育成する。</p> | 1 学年 | <p>○学習と部活動の両立を図ることができるよう学習記録簿等を活用しながら, よりよく高校生活を送るための主体的な姿勢・態度を育てる。</p> <p>○「総合的な探究の時間」におけるオープンキャンパス参加や職業講話, 大学模擬講義等の進路探求に関する学習を通して, 自己の在り方生き方について多面的に考える力を身につけさせる。また, 地域社会等の課題を見だし, その解決に向けた学習に取り組むことで, 地域貢献や社会参画に向けた意識の高揚を図る。</p> |
| 道徳 | <p>○知・徳・体の調和を目指し, 社会を生き抜くためのたくましい精神力を育成する。</p> <p>○高い志をもち, 自らの人生を主体的に切り拓くために必要な力を育成する。</p> <p>○学校行事等の特別活動への積極的な取組を促し, 友情をはぐくむなど, 豊かな人間関係を構築する。</p> <p>○自他の生命を尊重し, 安全で安心な学校づくりに寄与する姿勢・態度を養う。</p> | 2 学年 | <p>○中堅学年として, 学習記録簿等を活用するなどして計画的な高校生活を送るとともに, 部活動との両立を一層図ることができるようになる。</p> <p>○「総合的な学習の時間」における進路に係る学習を通して, 進路目標を明確に定めるとともに, 総合的な自己理解を深めた上で将来設計ができるようにする。また, 学問研究に取り組み, 自己の興味・関心に応じた学問領域への理解を深めるとともにディベート等の学習を通して, 論理的に物事を思考する力を身に付ける。</p> |
| 総合的な探究の時間 | <p>○自己の在り方生き方について主体的に考える姿勢・態度を養うとともに, キャリア教育の視点から基礎的・汎用的能力の育成を図る。</p> <p>○自己の進路, 地域社会, 学問領域等に係る課題を見だし, その解決に向けて主体的・協働的に取り組むことを通して, 課題解決に係る知識・技能を身につけ, よりよく社会で生きようとする姿勢・態度を養う。</p> | 3 学年 | <p>○高校生活の仕上げとして, 学ぶことや働くことの意義, 将来の社会における自己の役割や複雑化・多様化する社会への理解を深め, よりよい在り方生き方を求める姿勢・態度を育成する。</p> <p>○「総合的な学習の時間」における進路に係る学習やオープンキャンパス等への積極的な参加を通して, 卒業後の進路目標をより一層明確にし, その実現に向けて粘り強く取り組む姿勢・態度を育成する。</p> |
| 特別活動 | <p>集団活動を通して, 心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り, 集団や社会の一員として自主的・実践的な態度を育てるとともに, 社会人としての在り方生き方について主体的に考える姿勢・態度を養う。</p> | 家庭との連携 | |
| その他 | <p>○部活動等の課外活動への積極的な参加を促し, 知・徳・体の調和のとれた人格を養う。</p> <p>○健やかな心身の成長を図るため, 自主的・自律的に健康管理する姿勢・態度を養うとともに, よりよい高校生活を送るために必要な規範的意識の醸成を図る。</p> | <p>P T A 活動や保護者面談の機会, 「学校評価」等を通して, 生徒や保護者のニーズを把握するとともに, 各種たよりやホームページ等を活用した積極的な情報発信に取り組み, 家庭との適切な情報共有を図りながら信頼関係を育む。</p> | |
| | | 地域・企業との協働 | |
| | | <p>「総合的な探究の時間」における地域探究, 鰯陵塾, 職業講話等の学習活動や生徒会活動, 部活動や交通安全運動, ボランティア活動等の校外活動を通して, 様々な人達と接する機会を設け, 社会人として求められる資質の育成を図る。</p> | |

平成31年度「志教育」年間指導計画

宮城県石巻高等学校

| 3つの視点 | | かかわる | | | もどめる | | | はたす | | | 国語 | | 地理歴史 | | 公民 | | 数学 | | 理科 | | | |
|---|----------------------------------|---|---|------|-------|---|--|-----|-----|---|---------|---|------|------|----|---|-----|---|----|---|---|--|
| | | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 各教科指導目標 | 国語 | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | |
| | 保健体育 | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | |
| 学年共通 | | かかわる | | | もどめる | | | はたす | | | 各学年指導目標 | | | | | | | | | | | |
| 指導内容 | ① 探究心、向学心の醸成 | ○ | ◎ | ○ | 1年 | ・新たな環境のもとで自己理解を深めるとともに、多様な価値観を理解して良好な人間関係を構築する。 ・自己の向上のために、計画的に学習し、積極的に部活動に取り組む。 ・様々な機会を通して自己の生き方や希望進路を考える。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ② 挨拶の励行 | ◎ | ○ | ○ | | 2年 | ・集団生活における自己の役割を認識し、主体的な生活を送る。 ・自己理解の深化に基づいた具体的な将来設計に取り組む。 ・進路希望実現のための課題を見だし、その解決に向けて取り組む。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ③ 品位と節度ある行動の確立 | ○ | ○ | ◎ | 3年 | | ・自己実現に向けて校内外の諸活動等に積極的に取り組む。 ・学ぶことや働くことの意義、社会的な役割や複雑化・多様化する社会への理解を深め、明確な目標をもちながら進路の実現に向けて取り組む。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ④ 健康で安全な学校生活のための環境づくりの徹底 | ○ | ○ | ◎ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ⑤ 特別活動等への積極参加奨励 | ○ | ○ | ◎ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指導内容 | | ねらい | | | 指導教科等 | | 実施時期 | | 時数 | | かかわる | | | もどめる | | | はたす | | | | | |
| 共通 | 生徒総会 | 生徒会の一員として、学校生活における課題を見だし、よりよい学校づくりに向けて主体的に参画する姿勢・態度を育成する。 | | | 特別活動 | | 5月・11月 | | 2 | | ◎ | | | ◎ | | | ◎ | | | | | |
| | 鰯陵総体 | 各種競技への参加を通して、規律ある集団行動を身に付けさせるとともに、責任感・連帯感をもたせながら自主的・自立的に行動する力を育成する。 | | | 特別活動 | | 6月 | | 12 | | ◎ | | | ○ | | | ◎ | | | | | |
| | 強歩大会 | 長距離コースの走破・完歩を通して、達成感や達成感を味わわせるとともに、生涯スポーツに対する意識の向上を図る。 | | | 特別活動 | | 10月 | | 6 | | ◎ | | | ○ | | | ◎ | | | | | |
| | 鰯陵文化祭 | 学芸部等の部活動、委員会・ホームルーム等における日頃の活動の成果を発表し、文化・芸術に親しむ姿勢・態度を育成する。 | | | 特別活動 | | 8月 | | 12 | | ◎ | | | ○ | | | ◎ | | | | | |
| | 美化活動 | 校内外の美化活動を通して、社会奉仕の精神を養うとともに地域貢献に対する意識の向上を図る。 | | | 特別活動 | | 5月・12月 | | 2 | | ◎ | | | ○ | | | ◎ | | | | | |
| 1年 | 新入生オリエンテーション | 学習活動や生活規律、進路に係るオリエンテーションを通して、本校に対する理解を深め、学校生活への適応を図る。 | | | 特別活動 | | 4月 | | 6 | | ○ | | | ◎ | | | | | | | | |
| | 進路ガイダンス(進路探求) | 自己の適性等について理解を深め、進路意識の喚起を図る。 | | | 総合探究 | | 4月 | | 1 | | ○ | | | ◎ | | | | | | | | |
| | 地域探究 | 地域社会が抱える課題等を見だし、その解決に向けた学習活動を通して探究のスキルを身に付けるとともに、積極的に地域貢献や社会参画する態度を育成する。 | | | 総合探究 | | 5～2月 | | 14 | | ◎ | | | ◎ | | | ◎ | | | | | |
| | 小論文実習(進路探求) | 自分の考えを適切に他者に伝えられるよう論理的に思考し、表現する力を養う。 | | | 総合探究 | | 7月・1月 | | 6 | | | | | ○ | | | ○ | | | | | |
| | 読書会 | 読書を通して物事に対する視野を広げるとともに、意見交換や感想発表等の言語活動に取り組むなどして、読書に親しむ姿勢・態度を育成する。 | | | 特別活動 | | 5月・11月 | | 2 | | ○ | | | ◎ | | | ○ | | | | | |
| | 大学見学会(進路探求) | オープンキャンパスに参加し、大学における学術研究や学生生活に対する理解を深め、進路意識の高揚を図る。 | | | 総合探究 | | 7月 | | 7 | | ○ | | | ◎ | | | ○ | | | | | |
| | 大学模擬講義(進路探求) | 各領域における学術研究の内容や職業との関連性等を踏まえた大学教授等による講義を受講し、物事を探究する姿勢・態度を育成する。 | | | 総合探究 | | 10月 | | 4 | | ○ | | | ◎ | | | ○ | | | | | |
| | 職業講話(進路探求) | 各界等で活躍する社会人による職業に係る講話を聴き、職業理解を深め、望ましい勤労観・職業観を育成する。 | | | 総合探究 | | 11月 | | 4 | | ○ | | | ◎ | | | ○ | | | | | |
| | 鰯陵塾(進路探求) | 社会の第一線で活躍する同窓生の講話を聴き、将来の在り方生き方や進路実現に向けた意識の高揚を図る。 | | | 総合探究 | | 1月 | | 2 | | ○ | | | ◎ | | | | | | | | |
| 小論文講演会 | 様々な課題等に対して論理的に思考し、適切に表現する力を育成する。 | | | 総合探究 | | 3月 | | 2 | | ○ | | | ◎ | | | | | | | | | |
| 2年 | 進路ガイダンス(進路探求) | 前年度までの学習活動や進路目標を踏まえた上で、具体的な将来設計とその実現に向けた取組に対する意識を高める。 | | | 総合学習 | | 4月 | | 1 | | ○ | | | ◎ | | | | | | | | |
| | ディベート活動・課題研究(学問研究) | 様々な学問領域の学習に取り組み、課題発見や問題解決等に係る能力を養うとともに、学習の成果を適切に表現する力を育成する。 | | | 総合学習 | | 5～2月 | | 14 | | ◎ | | | ◎ | | | ◎ | | | | | |
| | 小論文実習(進路探求) | 自分の考えを適切に他者に伝えられるよう論理的に表現する力を養う。 | | | 総合学習 | | 7月・1月 | | 6 | | | | | ○ | | | ○ | | | | | |
| | 読書会 | 読書を通して物事に対する視野を広げるとともに、意見交換や感想発表等の言語活動に取り組むなどして、読書に親しむ姿勢・態度を育成する。 | | | 特別活動 | | 5月・11月 | | 2 | | ○ | | | ◎ | | | ○ | | | | | |
| | 進路講話(進路探求) | 進路実現に向けてより実践的な内容を学習し、主体的に進路を選択し、その実現に向けて取り組む姿勢・態度を育成する。 | | | 総合学習 | | 10月 | | 1 | | ○ | | | ◎ | | | | | | | | |
| | 大学模擬講義(進路探求) | 各領域における学術研究の内容や職業との関連性等を踏まえた大学教授等による講義を受講し、物事を探究する姿勢・態度を育成するとともに、進路目標の明確化を図る。 | | | 総合学習 | | 10月 | | 4 | | ○ | | | ◎ | | | ○ | | | | | |
| | 鰯陵塾(進路探求) | 社会の第一線で活躍する同窓生の講話を聴き、将来の生き方・在り方や進路実現に向けた意識の高揚を図る。 | | | 総合学習 | | 1月 | | 2 | | ○ | | | ◎ | | | | | | | | |
| 小論文講演会(進路探求) | 様々な課題等に対して論理的に考え、適切に表現する力を育成する。 | | | 総合学習 | | 3月 | | 2 | | ○ | | | ◎ | | | | | | | | | |
| 3年 | 進路ガイダンス(進路探求) | 学校生活や大学入試のスケジュールや具体的な対策の在り方等について理解させるとともに、計画的・実践的な生活に向けた意識の高揚を図る。 | | | 総合学習 | | 4月 | | 1 | | ○ | | | ○ | | | | | | | | |
| | 読書会 | 読書を通して物事に対する視野を広げるとともに、意見交換や感想発表等の言語活動に取り組むなどして、読書に親しむ姿勢・態度を育成する。 | | | 特別活動 | | 5月 | | 1 | | ○ | | | ◎ | | | ○ | | | | | |
| | 進路講話(進路探求) | 進路実現に向けた意識の高揚と、大学等で学ぶことへの意欲の喚起を図る。 | | | 総合学習 | | 7月・1月 | | 4 | | ○ | | | ◎ | | | | | | | | |
| | 進路研究(進路探求) | 将来の在り方生き方等について考えさせるとともに、明確な進路目標をもたせながら、必要な情報を収集し、適切に活用する力を育成する。 | | | 総合学習 | | 4～1月 | | 6 | | | | | ◎ | | | ◎ | | | | | |
| | 進路実現学習(進路探求) | 様々な課題に取り組むことを通して、進路目標実現のために必要な実践力をより一層高める。 | | | 総合学習 | | 4～1月 | | 6 | | | | | ◎ | | | ◎ | | | | | |
| | 進路別ガイダンス(進路探求) | 自己の進路目標に基づいた適切な情報の収集や活用を通して、より実践的な取組を促すと同時に、進路意識のさらなる向上を促す。 | | | 総合学習 | | 5～1月 | | 8 | | ○ | | | ◎ | | | | | | | | |
| | メンタルヘルス講話 | 受験期を乗り越えるために必要な心身の健康管理等に係る講話及びワークショップ等を通して、互いに励まし、支え合うなどの協調性を育てる。 | | | 特別活動 | | 1月 | | 1 | | ◎ | | | ○ | | | | | | | | |
| ※「総合的な探究の時間」の先行実施に伴い、1年のみ「総合探究」としている。 ※「指導内容」の()は、総合学習(総合探究)の単元名を示す。なお、内容・時数はH31. 2月現在の予定である。 | | | | | | | 合計時数 | | 141 | | | | | | | | | | | | | |